

**全国有力100社
アンケート調査**

「やや弱気」が41%で最多

弱基調回答は49%
「横ばい」は27%

2月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「2月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「やや弱気」が41%で最多だった。次いで多かったのは「横ばい」で27%。「弱気」は8%で、49%が弱基調の回答となった。「やや強気」は3番目に多く22%で、「強気」の2%を合わせて24%が強基調の回答となった。

◆業種別～商社・シッパーは「やや強気」が過半数

電炉メーカーの回答は分散した中、「横ばい」が43%でトップだった。「やや弱気」は36%、「やや強気」は14%、「弱気」は7%。商社・シッパーは、「やや強気」が55%と過半数を占めた。「やや弱気」は27%で次に多かった。市中業者のトップは「やや弱気」で、45%を占めた。次いで「横ばい」が24%、「やや強気」が18%、「弱気」が10%、「強気」が3%と続いた。

◆地域別～西日本で「やや弱気」が6割近くに

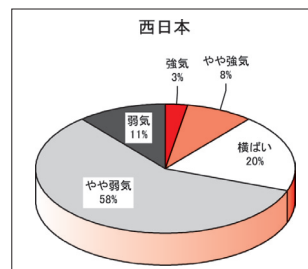
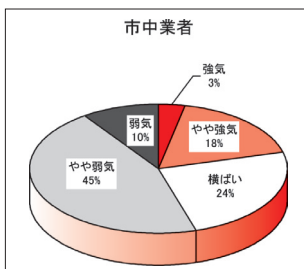
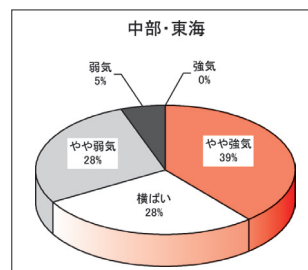
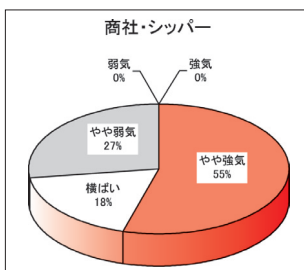
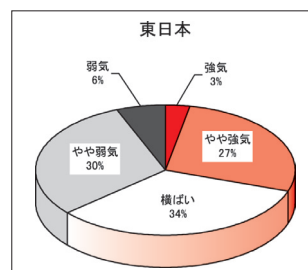
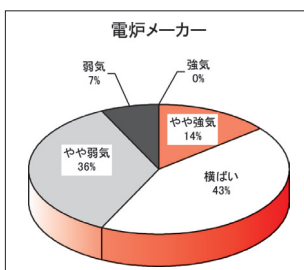
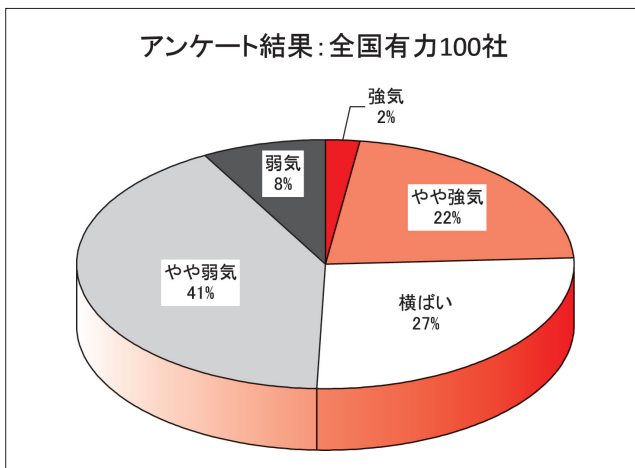
東日本と中部・東海が比較的類似しており、バラつきのある回答結果となった。その一方、西日本では「やや弱気」が6割近くを占めた。

東日本のトップは「横ばい」で34%、2番目は「やや弱気」の30%、次に「やや強気」が27%と続いた。「弱気」は6%、「強気」は3%だった。中部・東海のトップは「やや強気」の39%で、2番目は「横ばい」と「やや弱気」が28%で並んだ。「弱気」は5%だった。「強気」はゼロだった。西日本は「やや弱気」が58%でトップ。以下、「横ばい」が20%、「弱気」が11%、「やや強気」が8%、「強気」が3%と続いた。

<個別コメント(一部)>

▼米国内屑の値下がりが予想され、東アジア向け輸出価格の更なる下押しが見込まれ、また、日本国内の電炉入荷も順調で、値下がりが予想される。▼大阪地区1月は値下げが加速したため(約4円/kg)、2月は他地域に同調するものと思われる。▼来期以降も鉄鋼環境

は高い生産を期待した場合、原料価格は大きく下がらないものと思われ、スクラップ価格も横ばいになるものとする。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:2月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:1月24日～2月4日 ■回答率:87.0%(東日本82.5%、中部・東海90.0%、西日本90.0%)